

## 歴史の散歩道

(105)

「八田別所」はどこか  
開発したのは平泉寺僧良覚

「越前国八田別所 件所者、平泉寺僧良覚開発之地也」という文言が、妙法院文書の康永三年（一三四四）「亮性法親王庁解」の中に記されている。この文書を所蔵した妙法院は青蓮院とともに延暦寺に属した三つの門跡の一つである。

「八田別所」という村はどこにあったのか。「良覚」という平泉寺僧はどのような立場であったのか。まず、八田という地名を探すと、そこは勝山から遠く離れた丹生郡越前町（旧宮崎村）に八田という地名が見つかった。『宮崎村史』によれば、八田別所は八田、舟場、八田新保の三つの集落を含むところである。八田新保には白山神社があり、その入口の鳥居の脇に「お箸杉」という幹周りが七・八mの大杉がある。なぜ、勝山から直線で四〇kmも離れたところの僧侶が「平泉寺僧」と名乗る必要があったのであろうか。ここは織田庄の庄域で、中心には織田寺（剣神社）という大きな寺があるにもかかわらず、平泉寺を頼ったのであろうか。

中世の平泉寺の衆徒（法師）には、二つの面があった。一つは白山信仰を広めるという宗教活動である。もう一つは



八田新保の白山神社の大杉（お箸杉）



八田別所があった越前町八田付近（右書き）

開発領主としての経済活動である。中世には国衙領とされる土地と朝廷領や貴族領・寺社領の荘園があった。永平寺町では東寺の志比庄、大野では醍醐寺の牛ヶ原庄、春日神社（奈良）の小山庄などが知られる。勝山では大きな荘園があったという史料は見つかっていない。それは平泉寺の支配下にあったことを示すものであろう。

平安末期から鎌倉時代にかけて平泉寺は勢力を拡大するが、その経済的基盤をなしたものは、中小の開発領主が開墾して開発した土地で、それを守るために平泉寺と結び付き、平泉寺僧あるいは平泉寺衆徒であると名乗ることになったと推定する。

参考文献「角川日本地名辞典 13福井県」 勝山市文化財保護委員 佐野光臣

### 人口の動き

	7月末現在	自然動態		社会動態		8月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	12,743人	13	10	17	13	12,750人	7人
女	13,931人	9	14	14	17	13,923人	-8人
合計	26,674人	22	24	31	30	26,673人	-1人
世帯数	8,319世帯					8,313世帯	-6世帯

**編集後記**  
▼梅雨がいつ明けたのかもわからないまま、秋に突入してしまっただようです。勝ち山夏物語のかちやまワッショイ2009が、今年はやめおれ勝山の広場を中心に開催されましたが、なかなかのぎわいがあり、とても盛り上がりました。まちなかに活気があることは本当にいいと感じました。▼9月に入り、これから台風シーズンを迎えます。市では防災行政無線の運用が開始されました。備えあれば憂いなし。緊急時には威力を発揮します。

### 交通事故発生状況

※高齢者＝65歳以上

件数内訳	平成21年8月末	前年比
総件数	301件	-7
人身事故 (うち高齢者)	41件 (12)	±0 (+5)
死者 (うち高齢者)	1人 (0)	-1 (-1)
傷者	45人	+3
物損事故	260件	-7

### 9月の納税

国民健康保険税▶2期  
納期▶9月30日(水)  
口座振替▶9月28日(月)

### 「むずかしい・・・」

8月16日に行われた平泉寺歴史オリエンテーションで、看板に貼られた問題を解いています。ちょっと難しかったかな?でも木陰はとてもさわやかでした。

CONTENTS Web

勝ち山夏物語  
介護予防教室  
HOT話題  
出会いふれあい

(平泉寺) 平成21年9月10日発行

### 広告

広告のお申し込みは  
秘書・広報課まで